

# 道徳科学習指導案

令和元年7月11日（木） 4年

1 主題名 みんなのために働く 勤労、公共の精神 C-14

2 資料名 「ぼくの草取り体験」（日本文教出版「小学どうとく生きる力 4」）

3 主題設定の理由

（1）ねらいとする道徳的価値について

働くことや社会に奉仕することの意義や役割を理解し、それを現在の自分が学んでいることとのつながりで捉えることは、将来の社会的自立に向けて勤労観や職業観を育む上で重要なことである。勤労観・職業観を教え込むことなく、児童が「自分のためだけではなく社会生活を支えるものである」という奉仕の意義を理解し、集団の一員として役割を積極的に果たそうとする態度を育成することが重要である。

（2）児童の実態

児童は、みんなのために働くことで楽しさや喜びを味わうことがある一方で、働くことを負担に感じたり、面倒に思ったりする様子も見られる。また、働きに対し褒めてもらいたい、認めてもらいたいといった感情が強く見られることもある。身の回りの生活の中で、自分ができる仕事を見付けることが難しい児童も見られる。一人一人の実態に即して、働くことよさや大切さ、仕事を成し遂げた際の喜びや手応えを児童一人一人に体得させ、進んで働こうとする態度を養いたい。

（3）教材について

本資料は、主人公のぼく（とおる）が、丁寧に草を取っているひろしの姿や楽しそうに働く大人の姿から働く意味を考え、ぼくの働く態度も変わっていくというものである。はじめのぼくの気持ちへの共感、その後のぼくの気持ちの変化に気付かせる上で重要である。また、ひろしや大人の草取りに取り組む気持ちにも目を向けさせ、より広く働くことの意義を理解し、集団の一員として自分の役割を果たそうとする態度へと発展させることができる教材であると考えられる。

4 指導の工夫

ぼくとひろしの草取りに取り組む態度の対比から、気持ちの違いにも気付かせることができるようにする。ぼくの草取りに取り組む態度が変わったことで、ぼくや周囲の人のどのような幸せにつながったかを多角的・多面的に話し合えるようにする。また、ひろしがぼくのように変化した場合も想像させ、ぼくや周囲の人がどういう気持ちになるかを考える活動を通して、児童が自分の姿をぼくやひろしに投影しながら、自分との関わりで考えを深められるようにしたい。

5 本時の学習

（1）ねらい 小学校第4学年 C-14

「ぼく」の草取りに取り組む気持ちの変化から働く意味を考え、進んでみんなのために働こうとする態度を育てる。

(2) 授業の視点

ぼくの草取りの態度から、どんなことに気付いたのかを多角的・多面的に話し合わせたことは、児童が自分の姿をぼくに投影しながら、自分との関わりで働くことの意義について理解し、考えを深めるのに有効であったか。

(3) 準備 資料、どうとくノート、場面絵

(4) 展開

過程	学習活動	○基本発問 ◎中心発問 ☆補助発問 ・予想される児童の反応	時間	指導上の留意点
導入	1 自分の仕事を振り返る。 ・資料の確認をする。	○2つ質問します。自分はどうだろうか振り返りましょう。 ①任された仕事はよくやるほうだ ②仕事を見付けてよくやるほうだ	5	・児童の問題意識を高めて、価値への方向付けを行うために、自分の仕事について振り返らせる。
<b>【めあて】(みんなのために)働くとはどういうことだろう。</b>				
展開	2 「ぼくの草取り体験」を読む。 ・資料の確認をする。	☆ぼくとひろしくんがしたのはどんな仕事でしたか。→草取りだな ○ひろしの丁寧な草取りを見て、「ぼく」は何を考えたでしょう。 ・丁寧な性格だな。 ☆ぼくとひろしの気持ちは同じだろうか。 ☆ひろしはぼくの草取りを見て、どう思ったでしょう。	10	・関心を高めるために、資料の登場人物や場面についての絵を見せながら確認する。 ・いいかげんな気持ち、適当にやっている「ぼく」の気持ちに気付かせるために、問い返しの質問をする。 【人間理解】 ・気持ちの変化や違いが視覚的に捉えられるようにするために、板書の工夫をする。 ・仕事を成し遂げた喜びや手応えに気付かせるために、ひろしや大人の様子に目を向けさせる。【価値理解】 ・自分との関わりで考えられるようにするために、自分だったらどうかと問いかける。 ・働いている人の気持ちの多様さに気付かせるために、ゆさぶりの発問も用いる。【他者理解】
	3 ぼくとひろしくんの仕事に対する気持ちを通して、道徳的価値について考える。	◎「ぼく」がさっきより丁寧に草を取り始めたのは、どんなことに気付いたからでしょう。 ・ひろしくんの考えはいいな。今までの自分はずかしい。大人も頑張っている。 ☆あなたが「ぼく」だったら、このようにできただろうか。 ☆ひろしくんのようにできなかつたら、他に遊ぶ人がいる場面だったらどうか。	10	
	4 みんなのために働くことの価値に気付く。	○小さい子供たちの笑い声で、「ぼく」はなげうれしくなったのでしょう。 ・自分の仕事が役に立った。 ・他の子が喜んで、自分も嬉しい。	5	
	5 今までの自分を振り返り、今日気付いたことを感想に書く。	○あなたは、どんな気持ちで仕事に取り組んでいますか？ ☆今日気付いたことは、どんなことですか。	10	・自分の考えを持たせるために、個人で考える時間を設定し、ワークシートに書かせる。 ・多面的・多角的に考えさせるために、黒板に他の道徳的価値項目のワードを示しながら自分の考えを伝え合う。 <b>正直・個性・親切・協力・友情・信頼・感謝</b> など
	6 説話を聞く。	○みんなのために働くときに、大切なことは何でしょう。 ・みんなのためになることを考える。	5	・今後も実際に働きながら、考え続けてほしいと、教師の願いを伝える。
終末				

6 評価

ぼくの気持ちの変化を通して、働くことの意味や大切さについて考え、話し合っている。

(ノートへの記述、発言)